



旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

現在の尚古集成館本館(鹿児島市)など九州・山口と関連地域が、本年度、(機関)の世界文化遺産※に推薦されること、国や関係自治体とより一層緊密になります。

建造物群、遺跡、文化的景観などが対象となり



旧集成館機械工場(現:尚古集成館本館)

鹿児島島の構成資産の紹介

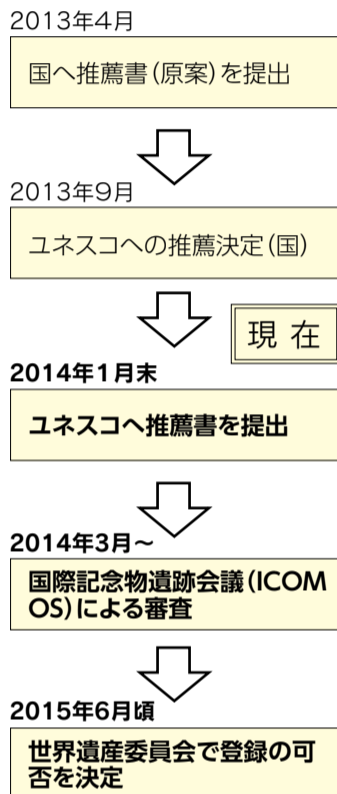
日本の南端に位置する薩摩藩は、外国の脅威に最初に接する場所でした。1851年に藩主となった島津斉彬は鹿児島市磯地区に「集成館」と名付けた工場群を築き、反射炉の建造など、後に日本が急速な産業化を遂げるための礎を築きました。

鹿児島市に残る「旧集成館(寺山炭窯跡と関吉の疎水溝を含む)」、「旧集成館機械工場」、「旧鹿児島紡績所技師館」が、鹿児島島の構成資産となっています。



世界遺産登録に向けて

スケジュール



世界遺産登録のために

県内の構成資産について、県内外の方々に広く知っていただき、世界遺産登録に向けた機運を高めるための取り組みを行っています。



県内の構成資産を紹介するパンフレットやステッカー

世界遺産に登録されると

県内の構成資産を次の世代に継承するための保存や、産業・観光の促進、まちづくりなど地域振興につながることを期待されます。



問い合わせ先 県庁世界文化遺産課 ☎099(286)2364

鹿児島県 産業革命

検索



NPO法人
まちづくり地域フォーラム・
かごしま探検の会事務局長

ひがしかわ みわ
東川 美和さん

多くの方々に、産業遺産について興味や関心を持っていただくために、まち歩きやさまざまなイベントなどを実施しています。

夏休みには子どもたち向けの産業遺産スケッチ・撮影大会を開催し、建物や地域の歴史を学びながら、皆さん一生懸命に取り組んでいました。

参加者からは、「じっくり産業遺産を見るのは初めて。建物に歴史が刻み込まれているんだと実感した」といった声も聞かれました。

皆さんも一緒に先人たちの功績に思いをはせてみませんか?

【問い合わせ先】
NPO法人まちづくり地域フォーラム・
かごしま探検の会
☎099(227)5343

冬は特にご注意ください！ノロウイルスによる食中毒

食中毒は夏だけではなく冬にも発生します。特にノロウイルスによる食中毒は11~3月に多く発生しています。ノロウイルスは感染力が非常に強く少量でも発症するため、患者数も多く、大規模な食中毒になりやすいウイルスです。

症状

ウイルスが体内に入ってから発症するまでは通常24~48時間かかります。
吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、微熱などが1~2日間続く軽い風邪のような症状がでる場合や感染しても症状のない場合もあります。

感染経路

- 食品からの感染
 - ・ウイルスに感染した人が調理などをして汚染された食品を食べた場合
 - ・ウイルスが蓄積した二枚貝を、生や不十分な加熱のまま食べた場合
- 人からの感染
 - ・感染者のくしゃみやせきなどから飛び散ったウイルスを吸い込むことにより感染する飛沫感染
 - ・感染者のふん便や嘔吐物からの感染 など

予防方法

- 手洗い
食事や調理の前、トイレの後は石けんでしっかり手を洗いましょう。
- 健康管理
健康管理に気をつけて、下痢や風邪などに似た症状がある場合には、調理はしないようにしましょう。
- 調理器具類の洗浄・消毒
まな板やふきんなどの調理器具はよく洗い、熱湯や家庭用の塩素系漂白剤で殺菌しましょう。
- 食品の加熱
食品は中心部までしっかり(85~90℃で90秒間以上)火を通しましょう。
- 汚物の適正な処理
感染者の嘔吐物が感染源となった例もあります。嘔吐物などの後片付けは、素手で扱わず、使用したペーパータオルや手袋などは廃棄しましょう。嘔吐物で汚染された床などは家庭用の塩素系漂白剤で浸すように拭きとりましょう。

インフルエンザにもご注意ください！

インフルエンザの予防には

- ・流行前にワクチンを接種する
- ・外出後は手洗いをするなど
- ・適度な湿度を保つ



例年明けから患者が急増します。

インフルエンザにかかったら

- ・早めに医療機関を受診する
- ・せきエチケットを守る
- ・十分な休養と睡眠をとり
- ・外出を控える
- など

問い合わせ先 県庁生活衛生課 ☎099(286)2786

問い合わせ先 県庁健康増進課 ☎099(286)2724